会 社 名　株式会社ガーラ（コード番号 4777)
代表者名　代表取締役グループ CEO キム・ヒョンス
本　　社　東京都千代田区丸の内 1-9-2

HTML5 MMORPG『Flyff Universe』世界大会

「FWC 2026」グランドファイナルを盛況のうちに終了

2026年11月06日

株式会社ガーラ（本社：東京都千代田区、代表取締役グループCEO：キム・ヒョンス）の連結子会社である Gala Lab Corp.（本社：韓国・城南市、代表理事CEO：キム・ヒョンス）は、同社が開発し、Wemade Connect Co., Ltd.がサービスを提供するHTML5 MMORPG『Flyff Universe（フリフユニバース）』の世界大会「FWC 2026（Flyff Universe World Championship 2026）」のグランドファイナルが、10月24日にフィリピン・マニラにて開催され、盛況のうちに終了したことをお知らせいたします。



▲「FWC 2026」グランドファイナル会場の様子

今年で4回目を迎えたFWCは、世界各国の『Flyff Universe』プレイヤーが大会専用サーバーにて同じスタートラインからキャラクターを育成し、PvPおよびPvEコンテンツを通じて実力を競い合うグローバルeスポーツ大会です。2023年にオンライン大会としてスタートして以来、毎年その規模と参加地域を拡大し、世界中のプレイヤーが共に楽しむ恒例イベントとして定着しています。

◆ 来場者数は前年比2倍超、グローバルコミュニティの熱量を証明

今回のグランドファイナルは、マニラの「SMモール・オブ・アジア・ミュージックホール」にて開催され、フィリピン、フランス、米国、チリなど計7カ国の選手で構成された8チームが熱戦を繰り広げました。決勝戦では「Team Astral（チーム・アストラル）」が「SUPAHOTCREWXD」を3対1で下して優勝し、FWC史上初となる3連覇を達成するとともに、優勝賞金8万米ドルを獲得しました。



▲ 3連覇を達成した「Team Astral」

会場には約7,000人が来場し、前年の約3,000人から2倍以上の規模に拡大しました。また、YouTubeやTwitchなどのオンラインプラットフォームを通じた累計視聴者数も約5万人に達し、『Flyff Universe』のグローバルコミュニティが持つ高い関心と結束力を改めて証明しました。

会場では、フィリピンの人気ガールズグループ「KAIA」による祝賀ステージをはじめ、コスプレ企画、インフルエンサーによるファンイベント、ゲームキャラクターをモチーフとしたフォトスポット、公式グッズの販売など、多彩なプログラムが実施されました。また、開発陣とプレイヤーが直接交流する機会も設けられ、ゲームに対する意見や今後の展開について活発な意見交換が行われました。



▲ 会場で実施された多彩なプログラム

◆ プレイヤーの声とともに進化する『Flyff Universe』

FWCは、大会期間中にプレイヤーが新たなキャラクターを育成し、協力や競争を体験できる仕組みを通じて、既存プレイヤーだけでなく、新規・復帰プレイヤーの参加も促しています。Gala Labは、大会運営を通じて蓄積されたプレイデータや寄せられたご意見を踏まえ、ゲームコンテンツやPvPのバランス調整をはじめ、サービス全体の改善に向けた取り組みを継続してまいります。

Gala Labのキム・ヒョンス代表取締役は次のように述べています。

「今回のFWC 2026は、世界各国のプレイヤーの皆様が『Flyff Universe』を通じて育んできた情熱や絆を、直接分かち合うことのできる意義深い機会となりました。今後もプレイヤーの皆様の声に耳を傾け、プレイデータやさまざまなご意見を丁寧に検証しながら、より完成度の高いコンテンツとゲーム体験を提供できるよう努めてまいります。」

なお、『Flyff Universe』は、2004年にサービスを開始したMMORPG『Flyff』を、Webベースのクロスプラットフォーム環境向けに再構築し、2022年にリリースしたタイトルです。原作の自由な飛行システムや経済システム、協力プレイを中心としたギルドコンテンツなどを継承しながら、Webブラウザから手軽にアクセスできる利便性を強みに、グローバルでサービスを展開しています。

以上

《お問い合わせ先》

cfo@gala.jp